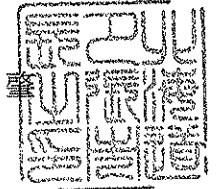




夕 建 管 3 号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

夕張市長 藤 倉



中期的な計画の作成にあたっての意見について

日頃から、本市の道路行政の推進に対して格別なご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

つきましては、先に依頼のありました中期的な計画に当たっての意見の提出について、別紙のとおり回答させていただきますので、何卒よろしくお取計らい願います。

○ 重点化を勧める上で特に優先度の高い政策について

夕張市は、人口に占める高齢者の比率（41.7%）が全国一となっています。このようなことから、高齢者のやさしい道路整備が必要であり、特に、高齢者の移動手段は、公共交通での利用が多く、老人が安心して歩く事ができる歩道空間の整備として、バス停、駅周辺のバリアフリー化・電線の地中化等の整備が必要と考えています。

さらに、急激な過疎化の進行が、路線バスの減便を招き、乗り継ぎを行なうバス停においては、時間待ち中に利用可能なトイレも必要な状況となっています。自動車ユーザーのための駐車場・トイレの整備とともに、今後進む高齢化社会において、高齢者の社会参加に期待することが必要な社会状況を想定した場合、高齢者が利用しやすい道路空間として歩行者の利用に供するトイレの設置も必要と思います。

沿道に設置されている既存公衆トイレの維持費への補助制度等も検討いただきたい。

○ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて

夕張市の市道の整備率は20.3%であり、生活道路の整備等住環境整備が進んでいない状況にあります。市道の改良を実施する場合、現道幅員での整備等移転補償が発生しない、地域状況に応じた、道路の規格、構造を柔軟に設定できるなど制度の拡大、さらに、財政力のない市町村については、補助率の嵩上げなども検討して頂きたい。

○ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

1. 市街地において、歩道整備が必要と思われる区間があります。交通安全対策を図る上で整備を促進していただきたい。
2. 過疎、医師不足により、救急医療における緊急搬送の必要性が増している現状、企業誘致につながる物流の利便性確保、また、近隣市町村との広域連携を進める上で、更なる道路ネットワークの構築をお願いしたい。